

〈 法人運営事業 〉

① 理事会:3回 (出席者数)

- 6/1(7名) 1. 平成29年度事業報告・決算報告・監査報告及び決算書の承認について
 2. 定款第34条3項に規定する重要な職員の選任について
 3. 平成30年度一般会計歳入歳出補正予算(第1号)について
 4. 平成30年度第1回評議員会開催日時及び議案に付すべき事項の決定について
- 11/7(6名) 1. 職員等の給与等に関する規程の一部改正について
 2. 一般会計歳入歳出補正予算(第2号)について
 3. 平成30年度第2回評議員会開催日時及び議案に付すべき事項の決定について
- 3/18(7名) 1. 会長及び常務理事の専決に関する規程の一部改正について
 2. 就業規則の一部改正について
 3. 職員等の給与等に関する規程の一部改正について
 4. 一般会計歳入歳出補正予算(第4号)について
 5. 平成31年度事業計画(案)について
 6. 平成31年度一般会計収支予算(案)について
 7. 平成31年度一般会計の借入限度額の決定について
 8. 平成31年度一般会計を補正する際の会長専決限度額について
 9. 平成30年度第3回評議員会開催日時及び議案に付すべき事項の決定について

② 評議員会:3回

- 6/20(13名) 1. 平成29年度事業報告・決算報告・監査報告及び決算書の承認について
 2. 平成30年度一般会計歳入歳出補正予算(第1号)について
- 11/15(13名) 1. 職員等の給与等に関する規程の一部改正について
 2. 一般会計歳入歳出補正予算(第2号)について
- 3/26(11名) 1. 会長及び常務理事の専決に関する規程の一部改正について
 2. 就業規則の一部改正について
 3. 職員等の給与等に関する規程の一部改正について
 4. 一般会計歳入歳出補正予算(第4号)について
 5. 平成31年度事業計画(案)について
 6. 平成31年度一般会計収支予算(案)について
 7. 平成31年度一般会計の借入限度額の決定について
 8. 平成31年度一般会計を補正する際の会長専決限度額について

監査等:3回

- 5/22、23 平成 29 年度事業実施状況並びに会計処理、決算等の監査(監事 2 名)
9/28 平成 29 年度会計処理等の内部経理監査(本会職員 2 名)
8/24 平成 29 年度知夫村補助事業に関する監査(知夫村 1 名)

《役員研修等》

- 平成 30 年度社会福祉協議会会長会総会・研修会(会長)
島根県社会福祉協議会トップミーティング(会長・常務理事)
平成 30 年度社会福祉法人指導監査説明会・研修会(監事 2 名)
平成 30 年度社会福祉法人監事研修(監事 2 名)

〈 地域福祉活動推進事業 〉

(1) 知夫村ボランティアセンター事業(相談受付を随時実施、調整及び情報提供)

◎無償ボランティア件数: 22 件

- ・配食ボランティア のべ 12 名
- ・招福苑周辺清掃活動 のべ 10 名

◎ボランティア清掃活動数: 2 回(のべ参加者数 209 名)

- ・春 5 月 12 日(土) ・秋 11 月 10 日(土)

◎広報紙等の発行:3 回

秋の清掃活動



(2) 福祉団体等への活動助成(知夫村補助金含む)

遺族会、身体障害者協会、老人クラブ連合会、各地区老人会、各地区、小中学校

(3) 民生児童委員協議会との協働事業

要援護者の見守り活動がスムーズに行えるように支援しました。(定例会: 月1回開催)



小中学校授業参観



あいさつ運動

(4) 赤い羽根共同募金運動の推進

社会福祉事業推進の為の財源を集める運動を展開しました。



(実施期間:10月1日～12月31日)

街頭募金	11,679	円
戸別募金	243,000	円
職域募金	127,253	円
その他募金	2,068	円
合 計	384,000	円

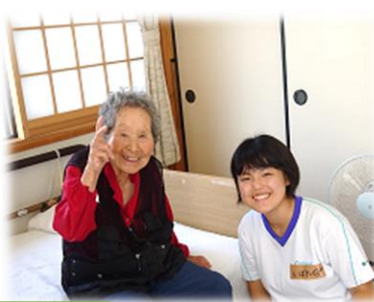
ご協力いただいた募金は、次年度の敬老会やあじさい交流会などの事業経費に配分されます。

(5) 福祉学習推進事業

◎サマーボランティアスクール

8月29日、30日に中学3年生10名、8月29日、9月4日、5日に中学1年生8名の参加による福祉活動体験プログラムを実施しました。

次世代育成を目的に、福祉の仕事に魅力を感じてもらえるよう配慮しました。



コミュニケーション



調理・家事援助・介助実技



座学・講義



(6) ふれあい訪問

75歳以上の単身高齢者世帯及び80歳以上の夫婦世帯を社協職員が訪問し、福祉ニーズの発掘に努めました。(10月～12月頃実施)

訪問世帯数 55 世帯

(7) 敬老会(共同募金配分金事業)

長年にわたり地域社会の発展に貢献してこられた高齢者のご長寿をお祝いし、敬老の意識の高揚を図りました。(9月12日)

参加者 92 名(80 歳以上の不参加者へ記念品配達 54 名)



(8) あじさい交流会(共同募金配分金事業)

ひとり暮らし高齢者の交流を目的に昼食会を開催しました。(6月19日)

参加者数 17 名



仲濱荘にて



(9) 在宅介護サポート事業(共同募金配分金事業)

在宅において介護されている世帯(要介護4、5)に福祉用品等を贈呈

今年度は対象者なし

(10) 生活福祉資金貸付事業

低所得者世帯などに対して、低利または無利子での資金の貸し付けと必要な援助等を行うことにより経済的自立や生活意欲の助長促進、在宅福祉や社会参加を図りその世帯の安定した生活を確保することを目的としています。 利用者数 0 件

(11) 日常生活自立支援事業

認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者等のうち判断能力が不十分な方が地域で安心して生活できるように福祉サービスの相談・手続きなどの援助をします。 利用者数 0 件

(12) 無償移送サービス

通常の車輛では移動の困難な方に対して福祉車両(車いす対応車、寝台車等)を使用し、診療所への送迎、島前病院からの退院時の送迎等を行いました。

実利用者数 : 11 名 延べ利用者数 : 20 名

(13)出産祝い品贈呈 対象家庭件数 9 件



(14)初盆供え物 対象世帯数 9 件

(15)広報活動

○広報誌の発行(毎月1回) 招福苑・社協事業の内容等を村民に情報提供しています。

○ホームページ・ブログの更新

事業の透明性、公共性を高めるため、インターネットで閲覧できるホームページを設けています。事業内容とともにブログで招福苑の日常の様子もお伝えしています。

<http://chibu-shakyo.sakura.ne.jp>



苑での行事などを掲載しています

＜ 村委託事業 ＞

(1) 軽度生活援助事業

介護保険の認定を受けていない方にもホームヘルパーの派遣を行いました。

概ね 65 才以上の要援護者 利用実人数 10 名 延べ利用回数 68 回
(前年度比 82%)

(2) 自立支援デイサービス事業

囲碁、カラオケ、笑和会、幼なじみ会など趣味の集まりの場を提供しています。

概ね 65 才以上の要援護者 利用実人数 16 名 延べ利用回数 183 回
(前年度比 87%)



囲碁



赤はげドライブ



カラオケ♪

(3) 自立支援配食サービス事業

概ね 65 才以上の病弱等で食事の提供が必要と認められる方のニーズに対応し、食生活の支援及び訪問時声かけによる安否確認等を行いました。

利用実人数 22 名 実施食数 3,898 食
(前年度比 102%)



声掛けしながらお届けしています

(4) 生活支援体制整備事業

生活支援コーディネーターを配置し、地区健康づくりの会への支援を行いました。(全職員が担当地区を持って活動支援しています) 実施回数 5 地区 19 回

地区での集まりなどで使えるレクリエーション用品を揃え、貸出対応しています。 貸出件数 23 件



来居 そよかぜ会



多沢 ぴんころ会



古海 だんだん会



レク用品
いろいろ有



ジェンガ

(5) 認知症対策総合支援事業

認知症の人やその家族を支援するための情報収集、介護・医療等の支援ネットワークの構築、連絡調整などを行いました。

担当職員 1 名が認知症地域支援推進員研修を受講しました(8/7~10)

(6) 家族介護支援事業

◎介護用品支給事業 対象者 6 名

要介護認定(4・5)を受けておられる方には、年 3 回支給券を発行し、介護に必要な消耗品などを購入していただいています。

◎家族介護者交流事業(介護者のつどい) 実施回数 2 回 延べ参加者数 16 名

介護する上での悩みや思いを話し合う機会を設けるとともに、リフレッシュしていただくことを目的に交流会を行いました。(5 月 30 日、11 月 30 日)



健康運動指導士さんによる体操

◎家族介護者教室 第 1 回参加者 21 名 第2回参加者 37 名

音楽活動を通して (7 月 10 日)



グリーフケアについて (3 月 13 日)

< 介護保険事業 >

(1) 居宅介護支援事業

介護支援専門員 2 名が利用者の介護相談や居宅介護サービス計画を作成しました。

認定調査延べ人数 57 名 (ケアプラン作成実人数 39 名)

(2) 訪問介護事業

訪問介護員 常勤 12 名(兼務含む)・臨時介護員 2 名で、介護保険利用者の居宅を訪問し、身体介護、生活援助等を 365 日対応で実施しました。

利用実人数 25 名 延べ利用回数 10,726 回
(前年度比 127.6 %)



(3) 日常生活支援総合事業 訪問相当サービス

サービス提供体制は訪問介護事業と同様です。

利用実人数 7 名 延べ利用回数 366 回
(前年度比 84.5 %)

訪問相当・通所相当とは・・・？

介護保険の認定が要支援などの軽度の方が利用できるヘルパーサービスやデイサービスです。

(4) 地域密着型通所介護事業

介護職員 常勤 7 名(兼務含む)・生活相談員 3 名(兼務含む)、看護職員 2 名(臨時 1)で、小規模ならではの和気あいあいとした雰囲気です。月曜日から金曜日(ただし、国民の休日及び 12 月 29 日から 1 月 3 日までを除く)対応で実施しました。

利用実人数 17 名 延べ利用回数 807 回
(前年度比 125 %)

職員による鍋ぶた踊り



送迎用新車両導入

(5) 日常生活支援総合事業 通所相当サービス

サービス提供体制は地域密着型通所介護事業と同様です。

利用実人数 8 名 延べ利用回数 110 回
(前年度比 110%)

(6) 単独短期入所事業

介護疲れ、介護者の冠婚葬祭などのときにご利用いただきました。365 日対応です。

利用実人数 12 名 延べ利用日数 502 日
(前年度比 260 %)



海が見える談話室



中庭が見える席ができました

〈 指定管理事業 〉

(1) 居住部門事業（定員 24 名）

“小さな島で、大きな支え”

住む人の希望に沿った暮らし方が意欲を持ってできるよう援助しています。また、季節行事、地域行事への参加などを行い、楽しみと生きがいの創出に努めています。

一人暮らしやご夫婦のみの高齢世帯に加えて、介護を必要としておられる方にもご利用いただいています。平成 27 年度の重度受け入れ開始以降 20 名、平成 30 年度は新たに 6 名の利用者さんを迎えました。

利用実人数 21 名

来居までドライブ



お茶会でレクリエーション



傾聴の時間



だんだん農園



野田さんによるミニコンサート



手作業を一緒に

(2) 老人介護支援センター事業

高齢者福祉に関する内容について、地域住民からの相談に対して必要な助言や援助を総合的に行いました。併せて自治体や高齢者福祉施設、医療施設など、高齢者福祉を推進する関係機関との連絡調整を行いました。

◎福祉用具の貸与

介護保険の認定を受けていない方にベッドや車いすなどの福祉用具を貸出しています。（介護保険で認定されている場合は、介護保険制度が優先されます）

貸出福祉用具の種類：ベッド、車いす、エアーマット、体圧分散マットなど

利用実人数 19 名

〈 その他 〉

(1) 地域包括支援センターへの職員派遣(ケアマネージャー1名、社会福祉士1名)

ケアプラン作成人数 16 名

(2) 各種関係機関等との連携強化

・知夫村教育委員会(高齢者・女性運動会、どっさり祭りなど)

・知夫村立知夫小中学校(福祉教育など)

年末大掃除のお手伝い



昔の遊びを伝授中



どっさり祭で写真展

・知夫村診療所、知夫村村民福祉課、通いの場(地域ケア会議:月1回、高齢者サポート会議:随時、平成30年度は2回開催)

・島前病院、福祉用具のさか他(サービス調整会議:随時)

・広域連合介護保険課(介護認定審査会への出席:随時)

・隠岐島消防署(救命講習会、一人暮らし高齢者宅防火安全指導への協力)



消火訓練



AED使用訓練

(3) 苦情の受付 3件 (利用者のケアに関すること)

(4) 知夫村共同募金委員会の事務・運営委員会(3回)・審査委員会(1回)・監査会(1回)

(5) 知夫村民生児童委員協議会の事務

(6) 知夫村身体障がい者協会の事務

(7) 知夫村遺族会の事務

(7) 自衛消防避難訓練(年2回)



大阪花の会メンバーによる
銭太鼓披露



今年のクリスマス会は民謡
& 鍋パーティでした♪



合銀「小さな親切運動」様から
車いすをいただきました



知夫村図書館からの貸出図書
を招福苑玄関に設置して
いただきました

